

令和8年度

京都市デジタル化推進プロジェクト

募集
期間

令和8年 2月24日[火] ~ 令和8年 5月29日[金]

※17時必着

支援
件数

200件程度
デジタル導入枠：50件程度
デジタル展開枠：150件程度

本事業の対象者は、次の①、②のいずれかに該当する中小企業等とします。

対象者

- ①京都市内に主たる事業所又は事業拠点を有する中小企業等
- ②主たる事務所を京都市内に設けている中小企業等で構成する団体

※京都市内で本事業を行う者でなければなりません
※令和8年2月24日現在において、開業又は設立後1年未満の者は対象外です

過去採択者も
一定数採択予定

デジタル導入枠

ITツールを活用できていない、デジタル化初期段階の中小企業等

- ①ペーパーレス化による人件費や事務処理コストを削減
- ②業務自動化による作業負担の軽減
- ③POSレジ・会計ソフトの導入

支援内容① IT専門家派遣		支援内容② ITツール導入	
回数	1補助事業者につき、 最低2回、最大5回	補助率	4/5以内
派遣 期間	令和8年 12月25日(金)まで	補助 上限額	40万円 (千円未満切捨、税抜)
費用	無料	対象 一例	ペーパーレス化、 POSレジ、 会計ソフト導入 等

デジタル展開枠

ITツールの導入等により、既にデジタル化に取り組んでいる中小企業等

- ①オンラインサービス導入による顧客接点の拡大
- ②組織・業務プロセスのデジタル改革
- ③基幹システム・EC構築、RPA導入

支援内容① IT専門家派遣		支援内容② ITツール導入	
回数	1補助事業者につき、 最低2回、最大5回	補助率	2/3以内
派遣 期間	令和9年 1月29日(金)まで	補助 上限額	100万円 (千円未満切捨、税抜)
費用	無料	対象 一例	オンラインサービス、 アプリ導入、データ分析、 基幹システム 等

対象経費 ソフトウェア購入費、システム構築費、ハードウェア購入費、導入関連経費、クラウドサービス利用料、賃借料 等

補助金の交付対象事業となるものは、新たにシステム・ソフトウェア等を導入し、業務の効率化、生産性向上に寄与する取組であって、導入するシステム・設備等が、事業終了後も継続的に活用される事業を対象とします。ただし、以下の①～④に該当する事業は、補助対象外となりますので、ご注意ください。

- ①京都市以外の場所で実施する事業
- ②テレワーク(在宅勤務)の導入及び利用促進のために行う事業
- ③事業効果に継続性が欠けると認められる事業
- ④当該補助対象期間外に発注・納品、及び支払いが完了した事業

申請方法

※1事業者につき1回限りの申請とします。
※受付最終日17時以降は、申請書を受理しません。

①WEB申請 <https://kyoto-digital-2026.com>

左の二次元コード、又は、上記のURLからお申込みください。



- WEB申請時、個人情報の取扱いに同意のうえ申請
- 必要事項入力後、必要書類をアップロード
- 登記簿・納税証明書は写真データでの提出も可
- 受付番号付きの受領メールを送付
- 対応形式：PDF/PPT/JPEG 40MB以内
原本提出を求める場合あり(資料は保管)

②郵送およびメールによる申請

必要書類を一般書留又は簡易書留により、以下の申請書郵送先へ提出してください。*ホッチキス留めはしないでください。

〒600-8006 京都市下京区四条通柳馬場西入
ニッセイ四条柳馬場ビル2階(日本旅行京都四支店内)
京都市デジタル化推進プロジェクト運営事務局宛
Email digital_kyoto2026@nta.co.jp

支援の流れ

支援対象期間：
支援決定通知日から

デジタル導入枠：令和8年12月25日（金）まで

デジタル展開枠：令和9年1月29日（金）まで

デジタル導入枠

デジタル展開枠

書類
申請

※令和8年5月29日
(金) 17時まで

支援
決定

※6月下旬頃

専門家
派遣

※事業完了まで

補助金
申請

補助金
交付決定

IT導入
開始

事業
完了

実績
報告

成果事例

京都市では、令和2年度からの6年間で約 **800社** を超える市内の幅広い中小企業や業界団体等のデジタル化を支援してきました。※過去の成果事例報告会については右の二次元コード、又は、以下のURLからご覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000284686.html>



①POSレジの業務効率化

POSレジ導入によって、オーダーが効率化、従業員の負担軽減。購買情報により在庫管理を適正化。



②業務時間の軽減

ドライバーにとって悩みの種であったルートや点検管理を一元管理。帳票類もなくしていくことで業務時間を短縮。



③AIによるノウハウ継承

建築に特化した生成AIを導入し、設計や資料作成等で若手でもベテランのノウハウを活かすことが可能。



④生産コストの無駄を削減

生産管理システム導入で案件毎の稼働時間や工数を一元管理し、社内でも共有。生産コストの無駄を削減。



令和6年度成果事例集

京都市中小企業
デジタル化・DX推進事業
成果事例集

令和6年度事業で支援した事業者・団体等の事例のうち運輸業、建設業、小売業、サービス業、製造業、旅館業、農業、中小企業団体から、20事例のデジタル化・DX推進について課題や具体的な取組・成果等を紹介



右の二次元コード、または下記URLへ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000002856.html>



令和5年度成果事例集

京都市中小企業
デジタル化推進事業
成果事例集

令和5年度事業で支援した事業者・団体等（運輸業、卸売業、建設業、小売業、サービス業、製造業、旅館業、中小企業団体）から、デジタル化推進の経緯や具体的な取組内容、今後の展望等を取りまとめた20事例を紹介



右の二次元コード、または下記URLへ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000002632.html>



令和4年度成果事例集

京都市中小企業
デジタル化推進事業
成果事例集

令和4年度「京都市中小企業デジタル化推進事業」で支援した事業者・団体等（製造業、サービス業、組合等）から、デジタル化推進の経緯や具体的取組、今後の展望等20事例を紹介する成果事例集です。



右の二次元コード、または下記URLへ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000002327.html>



令和3年度成果事例集

京都市中小企業
デジタル化推進事業
成果事例集

令和3年度事業で支援した事業者・団体等（製造業、サービス業、組合等）から、組織内でデジタル化を推進することになった経緯や取組等25事例を紹介



右の二次元コード、または下記URLへ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001827.html>



本事業に関するお問合せについては下記へお願いします。

申請・ご相談・お問い合わせ先

「京都市デジタル化推進プロジェクト」運営事務局

〒600-8006 京都市下京区四条通柳馬場室町西入ニッセイ四条柳馬場ビル2階（日本旅行京都四条支店内）

EMAIL：digital_kyoto2026@nta.co.jp

TEL：075-746-6868

受付時間：9時～12時、13時～17時＊平日のみ